

情報公開用文書

西暦 2020 年 1 月 6 日作成

研究課題名	ヒト血液における生体機能分子の解析
研究の対象	代謝物・サイトカイン
バイオバンクから提供する検体	216 人 216 本
研究目的・方法	<p>血液中には、核酸・タンパク質・代謝産物など生理活性をもつ様々な生体機能分子が存在している。近年、生体から産生される代謝物や食べ物・腸内細菌などからの代謝物が様々な疾患の発症や進展に関与していることが報告されている。このように代謝物による生体機能調節機構を明らかにすることは、老化や疾患を理解し、これらに対する医療的対策において貢献することが出来る。しかしヒトにおいて、性別や加齢、食生活習慣、疾患などによって代謝物の種類や量がどのように変化し健康状態に影響を与えるのかについて、大規模な調査によるデータ解析は未だ不十分である。</p> <p>本研究課題では、ヒト血液中に存在する代謝物を超網羅的に解析し、性別・加齢・疾患による代謝物変化のパネル化およびバイオマーカーの探索を行い、組織幹細胞やがん幹細胞を標的とした生体機能に影響を及ぼす未知の代謝物を特定することを目的とする。</p> <p>一般的なメタボローム解析では、入手可能な標品を用いて検量線を作成し解析するが、測定可能な代謝物が必然的に制限されるため、生体機能に影響しうる未知の代謝物を解析することは困難である。本研究課題では、代謝物による生体機能調節をさらに詳細に解析するためにアンターゲットメタボローム解析により超網羅的に代謝物を測定し、加齢や疾患に関連する代謝物を特定することを目指している。本研究課題の遂行により、性別・年齢・疾患による代謝物の種類や量の特徴を明らかにすることができ、さらに疾患を予測するバイオマーカーの創出に貢献するだけでなく、アンチエイジングや様々な疾患の予防や治療法の開発にもつながることが期待できる。</p>
研究期間	倫理委員会承認日（西暦 2019 年 12 月 18 日）～西暦 2024 年 3 月 31 日
研究に用いる試料・情報の種類	<p>健常人・各年代男女の血清</p> <p>情報の種類：年齢・性別・病歴・身長・体重・BMI</p>
バイオバンクから提供する情報の種類	年齢、性別、試料採取日、感染症情報
<p>問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：</p> <p>横浜市立大学先端医科学研究センター内 バイオバンク室</p> <p>電話：045-787-2592 メール：sentanbb@yokohama-cu.ac.jp</p>	